

平成 21 年度事業報告書

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業、日本語・日本文化普及、教育・技術指導等に係るボランティア支援推進事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

(ア) 事業内容

会員及びその関係者からのスリランカに関する相談を受け、情報を提供し、問題解決の方法を提示した。あるいは問題を解決した。

① 日本における企業内転勤ビザの取得

スリランカ現地法人を設立した株式会社 D 社の現地法人のスリランカ人社員 1 名の企業内転勤ビザ申請書類の作成のお手伝いをした。

② サバラガムワ大学日本研究コースの学生によるアンケート調査の依頼

相談を受けて、会員 8 名に、アンケート調査を実施してもらうように依頼した。

③ ニルガラ森を守る会からの要請

ニルガラの森は、モナラーガラ県ビビラにあり、スリランカの伝統医療であるアーユルヴェーダーに用いる薬草が生育する森である。この森を守る「ニルガラ友の会」は、周辺の農家 400 軒に薬草栽培を委託し販売した収益で森の保護活動をしている。この活動への支援を求められた。何ゆえ支援が必要なのかを明らかにする提案をして欲しいと伝え、その回答を得た。今後の対応は平成 22 年度になる。

④ 京都の R 大学「道具の会」から、紅茶プランテーションにおける幼稚園閉鎖について相談があり、どのように再開すべきを助言した。

(イ) 実施時期

① 8 月

② 7 月～10 月

③ 10 月末から 11 月

④ 11 月

(ウ) 従事者（無償ボランティアとして対応）

① 正会員 1 名

② 正会員 5 名

③ 正会員 1 名、スリランカ事務所代表、現地協力員 1 名

④ 正会員 1 名

(エ) 対象者及び相談件数

日本人企業経営者 1 名、日本人大学生 5 名、スリランカ人 7 名（大学生 4 名を含む）の計 8 名、4 件

(オ) 支出 16,500 円 (内訳) 通信費 1,500 円, 電話代 5,000 円, 交通費 10,000 円

(カ) 収入額 0 円

<イ> スリランカの公共トイレ・井戸の再建事業

(ア) 事業内容 ケーゴール県ガラピタマダ村の幼稚園でのトイレ2・井戸1の建設
「東南アジアに学校を作る会」及び「モリコロ基金」から得られた助成金をもとに、ガラピタマダ村スダルシャナ幼稚園とサンダレーカ幼稚園に汚水処理付きのトイレをそれぞれ1基建設し、ジャヤマガ幼稚園に井戸を建設した。

(イ) 実施時期 ; 5~12月

(ウ) 従事者 (大工を除き無償ボランティアとして対応)

正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力員3名、園長2名、教員1名、保護者52名、大工1名

(エ) 支出 355,584 円

(内訳) 建設費 333,074 円、ガソリン代 20,000 円、電話代 2,510 円

(オ) 収入額 0 円

<ウ> スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業

(ア) 事業内容

- ① 教育振興：幼稚園におけるカシューナッツの植林を進め、スリランカの環境教育の進展に寄与した。モリコロ基金からの助成金の一部を充当した。
- ② 人材育成・雇用促進事業：バティック・バッグ 20 個を買い、希望者に配布した。これによってバティック職人の給料を補助できた。
- ③ 人材育成・雇用促進事業：水晶細工職人アーリさんによる水晶細工の製品開発を支援した。3 種の水晶ペンダントを試作し、販売を考えている人に提供した。
- ④ 人材育成・雇用促進事業：農業振興による雇用促進の一環としてプッタラムのカシューナッツ農園を買い取り、スバ・ランカ農園を開設した。農園の管理者を雇い、作付けに関して現地農民を雇った。
- ⑤ 人材育成・雇用促進事業：塩田業振興による雇用促進の一環としてプッタラムの塩を買い備蓄する費用を拠出し、零細な塩田業者の雇用を確保した。

(イ) 実施時期

- ① カシューナッツの植林：5~11月
- ② バティックバッグ：10~11月
- ③ 水晶細工作製：5~11月
- ④ スバ・ランカ農園：5~11月
- ⑤ 塩田業支援：9月~10月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応)

- ① カシューナッツの植林
正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力員2名、保護者23名
- ② バティック・バッグの製作
正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力員2名、ヘンリー・バティック社長、従業員24名

③ 水晶細工

正会員1名、スリランカ事務所代表、水晶職人1名

④ スバ・ランカ農園

正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力者5名

⑤ 塩田業

正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力者3名

(エ) 支出額合計 1,599,830円

① カシューナッツの植林10本 34,416円

(内訳) 苗木・肥料29,833円、ガソリン代3,333円、電話代1,250円

② バティック・バッグの製作(20個) 19,541円

(内訳) 製作費用13,333円、郵送費2,042円、電話代4,166円

③ 水晶細工 18,832円

(内訳) 水晶原石代金及び作製費13,000円、電話代1,666円、ガソリン代4,166円

④ スバ・ランカ農園 1,430,375円

(内訳) 買い取り費用等1,149,167円、整備費190,375円、作物栽培費用32,500円、
管理労務費37,500円、交通費(ガソリン代)20,833円

⑤ 塩田業 96,666円

(内訳) 塩1トン62,500円、運搬費4,166円、備蓄施設建設費30,000円、

(オ) 収入額 0円

<エ> 日本語・日本文化普及、教育・技術指導等に係るボランティア支援推進事業

(ア) 事業内容

① 日本語ボランティアの招へい

サバラガムワ大学の近隣にあるバラゴダ市のタミル中央学校とその校長Mr. シヤンムガナタンが設立したJapan and Sri Lanka Combined Collegeに日本語クラスを開設することになり、J S Vから日本語教師を派遣してもらうように要請した。

② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈

無償供与された辞典類をサバラガムワ大学日本研究専攻の学生に贈呈した。

③ 日本語・日本文化センター創設準備作業

センターの目的、機能等に関する論議と情報収集を行ったが、ペーラデニヤ大学から既にセンター計画が提案されていることを知り、今後の方向を模索中である。

(イ) 実施時期

① 日本語ボランティアの招へい；9～11月

② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈；5月

③ 日本語・日本文化センター創設準備作業；5月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応)

① 日本語のボランティアの招へい

正会員1名、サバラガムワ大学日本語センター主任、大学教員2名

② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈

正会員1名、サバラガムワ大学日本語センター主任、センター職員1名

③ 日本語・日本文化センター創設準備作業

正会員 1 名、現地協力者 1 名

(エ) 支出額合計 28,150 円

① 日本語ボランティア招へい 12,200 円(内訳) 電話代 8,200 円、交通費 4,000 円

② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈 スリランカへの輸送費 13,750 円

③ 日本語・日本文化センター創設準備作業 2,200 円(内訳) 電話代 1,000 円、
通信費 1,000 円

(オ) 収入額 0 円

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア) 事業内容

① ブロークン・オレンジペコーの配布

スリランカの紅茶文化を紹介するとともに、時と場合によっては、会員からの要望により、試供品として、創業 1841 年のマックウッド社のブロークン・オレンジペコーを配布し、紅茶文化の普及、促進を図った。

② カシューナッツの配布

スリランカのカシューナッツが無農薬であることを紹介し、味がインド産とは異なることを知ってもらうために、時と場合によっては、会員からの要望により、試供品として、カシューナッツを配布した。

(イ) 実施時期 3 月～12 月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応) 正会員 2 名

(エ) 支出額 84,566 円

(内訳) 紅茶代金 15,875 円、カシューナッツ代金 13,333 円、日本への郵送費 16,804 円、会員への郵送費 27,880 円、事務消耗品費 4,924 円 電話代 5,750 円

(オ) 収入額 0 円

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

(ア) 開催日時及び場所 平成 21 年 2 月 14 日 17:00～19:00 名古屋市女性会館

(イ) 議題 ①平成 20 年事業報告の承認について②平成 20 年収支決算の承認について
③平成 21 年事業計画について④その他

(2) 理事会

ア 第 1 回理事会

(ア) 開催日時及び場所 平成 21 年 2 月 14 日 16:00～17:00 名古屋市女性会館

(イ) 議題 ① 総会での説明・提案事項について ② その他

イ 第 2 回理事会

(ア) 開催日時及び場所 平成 21 年 11 月 28 日 17:00～19:00 名古屋市女性会館

(イ) 議題 ① スバ・ランカ農園の買取について ② その他